

日光総合会館跡地の具体的事業内容の検討に当たっての
各部会員からの意見

□ 小規模ホール機能等施設について

現在の場所に設置を希望する意見	附帯機能についての意見	他の場所、施設等に設置を希望する意見
<p>①新総合会館のホールは、規模的に現ホールの1/2程度(400名程度)、音楽や演劇等の講演・発表等が出来るよう音響と照明に十分配慮する。</p> <p>②現総合会館の現況を踏まえると、廃止解体には同意いたしますが、日光地域住民の声を踏まえると、住民が集える場所、300人程度が集える新施設整備を強く要望いたします。</p> <p>③小規模がどの程度かわからないが、出来る限り収容人数を増やすことで利用者がいる程度確保できると考えます。</p> <p>④400人～500人収容のステージ付会館ホールの整備</p> <p>⑤市民及び各種団体が活用できるホール機能をもつ施設は、日光地区内に必要であり、400～500人収容可能なホール施設が望まれる。</p> <p>⑥日光地区(旧日光市)の文化を守っていくためには、文化的施設が必要。日光地区の文化活動の質や量を考えると500人規模のホールが必要。現在の場所じゃなくても日光地区内に文化活動のできる施設は必要。</p> <p>⑦文化協会の絵画等作品の展示発表、彫刻等のようにフロアや展示台を使用しての発表、音楽演奏、合唱等ステージを使つての各活動の発表ができる会館が再建されることを望む。</p> <p>⑧150人前後の小規模ホールは必ず必要だと考えています。</p> <p>⑨日光総合会館大ホールの利用状況を見ると、年一回、少人数の利用がその大部分を占めているので、小規模ホールとしての機能は残して、大人数での利用については、他の施設へ移管すべきであると思う。</p> <p>⑩世界文化遺産「日光の社寺」のおひざ元である地域ならではの各種行事を行える舞台を備えたホールを望む。また地域に密着した文化祭、学校行事、成人式などでも必要不可欠と考える。規模は使用実態から200～300人収容できる大きさが有効と考える。</p> <p>⑪300～400名程度</p> <p>⑫現状の活動を考えると小規模であってもホール施設は必要である。総合会館を廃止すると、日光地域には100名規模以上の会議室、集会施設が無く学校開放等が行われない限り、利用に支障をきたす。ニコニコ本陣の多目的ホール同等のホールを新設する。可動椅子式のため、ホール、会議室両方での利用が可能。楽屋部分が小会議室として利用可能。解体、整備、維持管理、を十分に考慮して後世に負担を残さない手法を検討すべきである。</p>	<p>①日光行政センターや消防署の会議室は何れも小さく且つ駐車場が狭く、100名以上集会に利用出来る会議室は日光地域にはないので、大会議室を確保する。</p> <p>②100人～200人収容の会議室ホール、30人程度集客の小会議室。災害時避難場所としての機能施設。音楽スタジオ。</p> <p>③展示やワークショップなどの文化活動を展開したり、会義やセミナー・ミニイベントなどができる多目的な空間も確保して併設されることが望まれる。</p> <p>④展示スペース、200人収容できる会議室が必要。</p> <p>⑤会議室使用実態をみると、100人・50人収容程度の会議室を併せ持った施設が必要と考える。これらの施設は、田母沢より手前の西町地域の災害避難場所にもなる。</p> <p>⑥150人前後の小規模ホールで、希望としては、ホールのイスが畳め、広く使えたり、簡単に動かせるパーティションで何部屋か区切ることができ、展示会もできる施設、2階か屋上に世界遺産センターを併設し、観光の目玉にしてはどうか</p> <p>⑦地区の広域避難場所</p> <p>⑧運営方法について、サウンディングによる調査、民間活力の利用とあるが企業にとっては採算、収益がベースとなってくる、一番に出てくる案としては商業施設との複合化だと思う。単純にその施設を利用して収益を上げたいと考える事業者はNGだと思う。周辺との共存、共栄、地域活性化といったまちづくりの観点をしっかり持った事業者でなければ、民間の力を利用して施設を整備した所で、地域は衰退すると思う。また、事業者の選定にあたっては地域との連携と意見徴収は必須であると思う。</p>	<p>①既存の別施設を有効に利用する。</p> <p>②小倉山地区に小規模の多目的会館を建設する。</p> <p>③大人数での利用については、他の施設へ移管すべきであると思う。</p> <p>④既存ホール棟のみを撤去し、会議室棟のリノベーションを行う。会議室棟の小会議室部分はリフォームが行われており改修は不要。大会議室部分の改修は行われておらずこの部分を改修し、平面ではあるが小規模ホールの機能を持たせる。</p>

【意見傾向まとめ】

- 現在の場所に、小規模ホール機能が必要という意見が多数を占めた。
- また、小規模ホールが必要という意見に付随して、会議室機能、展示スペース、世界遺産センター等を併せ持つものという意見、地区の避難所の役割のほか、多目的な活用についての意見も多数見られた。
- 一方で、小規模ホール(日光地域の住民が集える場所)は必要だが、既存の場所でなくても良い、あるいは、他の施設を有効に活用すべきではないかとの意見もあった。

※施設規模については意見が複数あったことから、次回以降、最適規模を検討する必要がある。

□ 駐車場について

現在の場所に駐車場設置を希望する意見	他の場所への設置や配慮等	その他
<p>①現安川町第2・3駐車場は平面的であるが、大谷川と現駐車場との比高はかなりあることからこれを活用して多層化し、駐車能力を倍増か数倍にする。 その際整備は駐車場単独でなく、観光客と市民の両者が利用できるように、新「総合会館」と一体的に整備し土地の有効活用をする。多層化により料金収入を倍加させ、とともに駐車場入口・出口は機械化し、駐車場管理の人件費を極力抑制する。</p> <p>②場所の特性上、駐車場の設置は有効活用に資すると思われる。駐車台数を現在より増加して収益を高めるためには、多層化による駐車場施設の整備が必要である</p> <p>③社寺参拝者の駐車場不足を緩和する為、跡地全体を駐車場として使用する。</p> <p>④旧日光市内、特に二社一寺周辺は絶対的に駐車場が不足しており駐車場不足による渋滞が慢性化している。二社一寺周辺は特別保護地区となり新規駐車場の建設は不可能となっているので、どういう形であっても一般観光客が利用可能な駐車場としての機能は残すべきであると思う</p> <p>⑤総合会館跡地は全て駐車場にして、1000台規模の収容を整備する。</p> <p>⑥現在駐車場もあるので、総合会館を撤去しただけでは、駐車台数はあまり増えないので、駐車台数を増やすのであれば2階建て3階建ての駐車場が必要。</p> <p>⑦第2・3駐車場については、会館計画とともに、景観に配慮しつつ計画する。駐車料金の検討</p> <p>⑧現状の利用状況、観光客の動向を鑑みると駐車場の設置は必須であると考ええる。</p>	<p>①二社一寺周辺は世界遺産のコアゾーンに指定されていたり、風致地区さらには、自然公園の特別地域と制約が多くあることから、駐車場整備は規制が多いと思いますので、稲荷川や大谷川河川敷地を利用した大規模駐車場整備を望みます。</p> <p>②便利にしすぎると観光地はダメ、渋滞の原因になるだけ。世界遺産登録地域には自動車を入れない方が良いのではないかと。二次交通をどう使うのか。</p> <p>③ステップ1として西参道第2駐車場の多層化駐車場増設をする前に、優先順位として建設改修資金の効率的運用と東町活性化を併せ持った東町内にある空き市営住宅（稲荷町2丁目・御幸町志渡淵川沿い）を更地にして有料駐車場にしてはどうか。試算で収容台数約100台既存の御幸町市営駐車場収容台数116台と合わせると約200台を確保できる。ステップ2として西参道第2駐車場の多層化駐車場増設規模を検討が有効と考える。</p> <p>④目先のことだけ考え駐車場にしまい何年後に新たに何かの施設を造るなんてことは絶対にできない、何かの施設との併設ならともかく、駐車場だけにすることは認められません。旧日光市内には休祭日は二社一寺参拝の自家用車は入れない、これこそ日光市民、二社一寺、環境問題も含め世界の日光市がさらなる飛躍していきることだと思います。</p> <p>⑤第2駐車場側での駐車場整備検討であるならば、駐車台数増は望めないが平面駐車での整備が望ましい。現在の駐車場スペースはイベント広場としての側面も持っており、各種イベント会場としても利用されている。過去には弥生祭宵祭りにおいても集会場所として利用されていた。第2駐車場側での立体駐車場の整備であると、周辺環境、景観への影響が大きい。駐車場整備にあたっては、入込台数とコスト（イニシャル、ライフサイクル共）を十分に検討する必要がある。今後の人口減少社会、技術革新による交通手段の変化により、自動車による移動自体が変化する可能性もある。</p>	<p>①交番側の駐車場を多層化することが出来れば、会館側の平面はそのままが良いと思う。</p> <p>②第1駐車場の多層化（景観への配慮が必要） ・第1駐車場に障がい者及び高齢者の為のエレベーター設置、バリアフリー化。</p> <p>③多層階で検討する際には、周辺の景観に十分に配慮する必要がある。多層階での設置の際には国道側と境内地のレベル差を利用した第1駐車場側での設置が、現在の境内地への階段のみでのアクセスの悪さ（バリアフリーの観点）の解消、周辺景観への影響からも望ましいと考える。 しかし、第1駐車場側であると総合会館廃止に伴う事業との連動が敷地が離れるために事業化は難しいのではないかと考える。</p>

【意見傾向まとめ】

- 現在の場所に駐車場機能は必要であり、多層化等による増大が不可欠という意見が半数以上あった。
- 一方で、二社一寺周辺エリアにおける法規制や渋滞対策という視点からこの場所に駐車場を造らず、大谷川河川地や東町内に駐車場を整備した方が良いという意見も多かった。
- この他に、出入口の変更や駐車場料金の見直し、収受方法の変更も必要という意見も見られた。

※施設規模については意見が複数あったことから、次回以降、最適規模を検討する必要がある。

□ 渋滞対策について

当該地での対策	周辺エリア、公共交通等を含めた対策	ソフト的な対策
<p>①新駐車場を多層化する事により駐車場キャパが向上し、渋滞対策の一助となる。 新駐車場の入口を大谷川側にする事により現駐車場入口付近のバス停や奥日光に向かう自動車による西参道の混雑を解消出来る。</p> <p>②駐車する車の入口を大谷川沿いに設置して迂回させることで、国道を通過する車との競合が軽減し、少しでも渋滞を緩和できるのではないのでしょうか。</p> <p>③現状変更の困難な二社一寺周辺は、これ以上駐車場を増やすことは難しいと考えられるので、調査し可能であれば、総合会館にある駐車場を多層式にする等の方法も検討すべきである。</p> <p>④総合会館跡地に大駐車場ができれば、渋滞はかなり解消される。</p>	<p>①文化会館等で対策はできない案件、川側の道路の拡幅と合流ポイントの合理化が出来れば多少の対策になるのでは？</p> <p>②行楽シーズン休日等、国道119号線の最終地点である神橋から右折するマイカー等が先方の駐車場の満車により、市内が大渋滞してしまうため、神橋の右折規制をしなくては、現況の打破は無理。</p> <p>③地域住民・市民の生活を守る事を第一に考える。周辺地区の空き地の利用。東武鉄道、東武バスとの連携。</p> <p>④日光の渋滞は東照宮駐車場が原因の渋滞。今市や大谷川河川敷の利用、鉄道やバスの利用、世界遺産登録地域に自動車を入れないことで、渋滞が減ればバスが定時運行が出来る。</p> <p>⑤徒歩や自転車による回遊性の向上による鉄道利用率の向上。</p> <p>⑥神橋を迂回できるルートや足尾に抜ける第3いろは坂（交互通行）ができない限り渋滞対策は難しいと思う。</p> <p>⑦県にもお願いをして土曜・休祭日だけでも日光、清滝間を無料化をしていただく事を市役所・日光市長に要望したい。旧日光市内に土・休祭日は二社一寺参拝の自家用車は入れない。日光市場跡、清滝電工リンク跡など止められる場所は探せばまだまだある。旧日光市内の駐車場のキャパだけでは総合会館の場所に駐車場を増やしてもたかがしれてる参拝者はこれ以上増やせない。渋滞対策で二社一寺参拝の自家用にシャトルバスを運用させる。駐車料、バス代を取れば日光市の利益にもなる。普段の総合会館駐車場はがらごらだと思う。</p> <p>⑧駐車場への誘導案内電光掲示板を設置（神橋手前・山内に続く稲荷橋手前）</p> <p>⑨市内の渋滞発生は、年3・4回 ゴールデンウィーク、お盆、紅葉、正月であり、この期間のピークカットができる駐車場手当ができる方法があれば、緩和できる。今年5月に実施した大谷川左岸河川敷、日光土木事務所、国土交通省日光砂防事務所、日光小学校校庭を借用しての臨時駐車場は有効であったが、利用者目的箇所が山内のため町中の賑わい活性化には効果が薄かった。</p> <p>⑩総合会館駐車場に限らず近辺駐車場の情報を網羅し発信</p> <p>⑪現在、個人の空き駐車場を有効利用する試みも多くなってきている。本年行っている、大谷川河川敷、小学校、等を利用した駐車場も非常に有効である。しかし、観光客の心理として目的地の少しでも近くに駐車したいとの思いが強いいため緩和にはなっても、解消はしないと考えている。</p>	<p>①車による来見者を把握することなく、混乱をさせない情報提供。総合会館周辺の渋滞原因の把握の必要性。 ・日光インフォメーションシステムの構築（リアルタイムの情報提供、エリアラジオ。SNS、電光掲示板等）</p> <p>②いろいろ対策をされてこられたとは思いますが、周知があまりにされていないので、どれも成功とは思えない。日光宇都宮自動車道に周知の看板を立てたり、高速道サービスエリアにチラシを於いたりインターネットの日光検索で呼びかけ徹底してPRを行っていただきたい。</p> <p>③渋滞原因は山内駐車場を目指した日光橋、稲荷川橋がネックであり駐車場情報が利用者に解るような周知方法が必要と考える。</p> <p>④日光地域の渋滞は神橋交差点がボトルネックとなり発生している。西参道駐車場が空車の状態でも、神橋前では大渋滞が発生している事も多い。渋滞解消には駐車場情報のリアルタイムでの発信が重要になる。一番の問題は情報が観光客に十分に届いていない事であると思う。</p>

【意見傾向まとめ】

- 当該地の駐車台数規模が拡大すれば、渋滞対策の一助になる、また、当該地への駐車において渋滞を誘発しないよう、出入口を別にするなどの工夫により渋滞緩和が行えるのではないかとの意見があった。
- 一方で、当該地への駐車台数の増加等の物理的な対応策だけでは、抜本的な解決にはならないという意見が多数見られた。周辺エリアを面的に捉えた駐車場のあり方、公共交通活用を可能にする工夫、渋滞回避のための誘導、駐車場利用者への情報提供、渋滞緩和策の周知方法の工夫などを組み合わせることが必要という意見が大勢を占めた。

※エリア内の自家用車規制等は、渋滞対策の大きな政策転換であることから、実現にはかなりの時間と調整が必要となる。
意見の多数を占めた周辺エリアを面的に捉えた対策の必要性を認識し、実現性がある様々な施策の組み合わせを念頭において、エリアの中での当該地の果たす役割を明確にし、当該地の活用法を整理していかなければならない。

□ 地域活性化、賑わい等について

日光総合会館跡地整備施設を拠点とした意見	誘客のための施設併設意見	その他
<p>①駐車場のキャパ増大は駐車場に悩む観光客の時間的余裕を生み、周辺地域の見学箇所への関心を生み、周辺地域の努力・工夫次第でそれらは”客”となり、地域の賑わいを生む。「世界遺産センター」の設置は、観光客は勿論修学旅行生や社会科見学の児童生徒にとり日光を総合的に学習する新たな見学施設となり、地域活性化の一助となる。</p> <p>②長期的に地元住民が利用することが出来る施設。優れた文化・芸術に触れられる場所であると共に、文化芸術活動に参加、発表の出来る場所である施設。お祭り広場的な場所。</p> <p>③年の利用状況によれば、文化・社会・福利厚生関係の各種講習や会議集会などの催しが行われ、その利用者は、地域市民はもとより、県内外の大学や学会、各種団体など、広域に企画利用されている。日光の一等地という立地を活かして、広く利用をアピールすることで利用者を増やし、活性化や賑わいの一拠点として活用したい。</p> <p>④文化活動が盛んな街は地域が活性化する。地域が活性化すれば街は賑わう。</p> <p>⑤世界遺産センターを総合会館跡地に併設、観光のスポットとして観光のPRの一つにしてほしいと考えます。屋上か施設前にオリオンスクウェアのような舞台と大型モニターを設置し、国道から見える位置で観光の案内や、各地のイベント、音楽など見せて日光をアピールできる場所であれば最高にいいのでは。市の力だけでは、厳しいのであればやはり大手の民間の力が必要かと思えます。</p> <p>⑥建物は開放的で日光の情報が発信できるような施設</p> <p>⑦世界遺産地区の中心的シンボルとして、市民が誇りと愛情を持てる景観や外観。</p> <p>⑧観光情報発信できる施設等を小規模ホールに併設、市民、観光客への催事</p> <p>⑨日光地域の街なかでイベントスペースとして活用できる場所は、総合会館の駐車場部だけである。イベントを行うに当たっては、トイレ、水場等の設備は必須であるし、インフォメーションや休憩スペース（屋内）も必要となる。</p>	<p>①JR日光駅・東武日光駅から外国人を含めて散策しながら、社寺方面に歩いている観光客の方が年々増加しているので、近隣商店と競合しない程度に、これが日光と言われる休憩施設を兼ね備えた大型ショップを建設してはと思います。</p> <p>②箱物のイメージがないので、何が出来るか考えにくい、新規出店ができるようなテナント等、箱物に可能性があればいい。</p> <p>③人の流れをどう流して、どこでお金を使ってもらえるか。地元事業者はどう儲けてもらうか。駐車場整備によるバス、タクシー鉄道利用など。富裕層、資産家の誘致（何が重要なのか、研究、聞き取り）、日光でしか手に入らない物、グルメ、お土産の開発。</p> <p>④総合会館周辺でも、空家、空き店舗が多くみられる。これらの空家、空き店舗を対策を行い、出店希望者と所有者のマッチングを行って行くことが、地域活性化とにぎわい創出に繋がると考える。今回の整備内容検討にあたって商業施設との複合化の案がサウンディングにおいて出たかと思うが、新たな施設だけが賑わい、周辺が空き店舗だらけでは何の意味もない。地域全体をどのようなまちにしていくのかといった大きなグランドデザインをもって臨む必要がある。</p>	<p>①旧日光市内には二社一寺参拝の自家用車は入れない、そしてシャトルバス停車を旧日光市役所、神橋、西参道などにとめて、観光客を街歩きさせる。</p> <p>②日光街道沿いの東町は、道路拡張に伴い各店舗が綺麗に造り直され、景観も良くなり徒歩で市街を散策する人々を沢山見かけるが、それに対し西町は各店舗も老朽化が目立ち、とても門前町と呼べる風情ではないと思う。</p> <p>③良い店とサービスを向上すれば良い。</p> <p>④神橋から西参道の再開発。フレックスタイム制による社寺参拝の時間延長。</p>

【意見傾向まとめ】

- 新たな施設整備に際しては、世界遺産地区の中心、シンボルとして、世界遺産のガイダンス並びに日光地域の観光・文化の情報発信基地としての役割を果たす機能、また整備にあたっては景観や外観に配慮すべきとの意見が多数あった。
- また、整備後の施設を拠点として活性化、賑わいを生むために、魅力発信の効果的PR・運用上の工夫、市民、観光客へのイベント等の仕掛けや施設活用の工夫についての意見が多数見られた。それらの施設整備、運用上の仕掛けにおいて、行政だけの力で厳しいのであれば、民間の力も必要との意見もあった。
- 一方で、近隣商店等と競合しない範囲での商業施設、テナント等も併設することで、観光客の休憩施設、満足度の向上に繋げる発想、周辺も含めて地元事業者に儲けてもらう仕組みについての意見もあった。

ロ その他

当該地のポテンシャルを生かした施設整備を望む意見	将来を見据えた慎重な検討を望む意見
<p>①貴重な市有地（市施設として唯一？市財政に寄与する施設）を諸施設の集積により有効活用し、同時に地域の拠点とする視点が大切と考える。</p> <p>②世界遺産「日光の社寺」を、包括的・体系的に解説・紹介するガイダンス施設が必要であるにもかかわらず、未だ設置されていないことは、「史跡日光山内の整備活用計画」において課題として指摘されているところです。</p> <p>よって、当該地区は山内に隣接して入口にあたる場所であり、市による中核的なガイダンス施設（ビジターセンター）の機能を併設することを要望したい。</p> <p>③常時はウエルカムセンター（世界遺産センター）の機能として使い、公民館として変えられる様なものを建てる。雨天時に見られる施設、展示物、お土産品。お客様、外国人などが日光の情報を取れる施設が必要、観光協会も移動。</p> <p>④新総合会館はホール単独でなく、出来得ればホール・大会議室・世界遺産センターの3機能を集約した建物とし、それらが個に立地する無駄と弊害を省く</p> <p>⑤世界遺産センター、国際会議場、コンベンションホール。日光文化会館（日光祭り会館）、観光・文化・芸術情報センター、インフォメーションセンター</p> <p>⑥市で建設、管理は必須。一般大企業との共同は近隣地域の事業所等への影響が懸念されるため反対。観光客の休憩トイレ、テナント募集</p> <p>⑦他事案で利活用の意見を聞いてまとめましたが、「予算が無くて意見をいただいた内容は何もできません」といった事もあった。今回は日光総合会館の廃止にともなう事業内容の検討である。皆さんの意見はききました。廃止についての意志調整はできているので廃止し解体します。しかし、予算がないため新たな整備はできません。といった事には絶対にならないようにして頂きたい。</p>	<p>①日光地域は人工美・自然美がすぐれており、素晴らしい観光地だと私は自負していますが、日光地域は山間地・急傾斜地が多く地理的に厳しい状況ですが、交通渋滞・駐車場不足解消を図るには多くの方々の英知恵を集集していけないと、日光は数年後には大変厳しい状況化に、直面していくのではないかと危惧している。</p> <p>②中途半端な計画が後の世代にどう影響するのかと考えて欲しい。</p> <p>③閑散期に日光の資源をどう活用するか？その一つが総合会館のある場所だと思います。日光市で建てなくても誘致すれば出来ると思います。</p> <p>④日光市で運営されている総合会館の駐車場が黒字で増やしたいと考えている方がいられると思いますが、これは目先のことで、10年後、20年後を考えていません。市で運営する施設の中で黒字にできるものはまだまだ沢山あると思います。単に入札などで安いところに運営を任せるのではなく企画力とアイデアあり、うちならこれだけ儲けを出せまうところ任せて欲しい、見直せば民間委託でまだまだ利益を出せるところがあるのでは、見直されては如何でしょう。また総合会館の問題でも予算がないということであれば、市が広く公募などで大手の会社に投げかけてコンペなどで一番いいアイデアを採用しない限り民間とコラボできないのでは、市の呼びかけで参加企業を募って欲しいと思います。</p> <p>⑤団塊の世代が70歳を過ぎ、近い将来急速に人口減少が進むことを十分考慮して議論すべきだと思います。</p>

【意見傾向まとめ】

- 地域活性化・賑わい等の項目と同様、当該地のポテンシャルを十分に生かした施設整備、必要な機能を複数求めるとともに、それらの一体的な整備の必要性についての意見が多数あった。（関連施設の意見は次頁に列挙）
- 一方で、整備内容、規模等については、将来を見据えて、効果等を検証しながら慎重に議論をすべきとの意見も多数あった。また、将来的な社会環境の変化なども冷静に見通し、既存の資源を更にどう生かすか考えるべきとの意見も付随して見られた。
- 施設の整備方法に関しては、行政が建設・管理まで行うべきとの意見があった一方で、行政でなくても、民間の力（資金・企画、発想）を活用することが必要との意見もあった。

※施設整備手法に関しては、意見が様々あることから、事業内容を整理した上で、次回以降、事業化にあたって最適な手法を検討する必要がある。

□ その他の項目で掲げられた、一体的関連整備施設の意見（機能名抜粋）

- 世界遺産センター（ガイダンス施設）
- 国際会議場
- コンベンションホール
- 観光・文化・芸術センター
- 観光情報機能
- インフォメーションセンター
- 観光客の休憩トイレ
- テナント
- お土産品
- 雨天時等に見られる施設
- 展示物
- 国内・国外観光客などが日光の情報を取れる施設（観光協会）
など

□ 関連意見

- 現ホールには旧日光市役所職員団体寄贈の1000万円以上のグランドピアノあり。
- 総合会館取り壊しの件は、地域住民が納得してから決定してほしい。取り壊した後、同じ場所または別の場所に文化的施設を作る計画があれば地域住民は反対しないと思う。
- 落合源七・巴快寛顕彰碑の移設
日光総合会館大ホール入口右側隅に顕彰碑が建立されている。明治維新で新政府が発令した神仏分離令で、二社一寺の建物移転に反対し、日光町民600余名が立ち上がり新政府、明治天皇直訴まで行い現状維持を獲得できた功績碑です。忘れ去られようとしている昨今、総合会館解体前に然るべき場所に移設し、将来に亘って継承すべきと考えます。
- 今市文化会館に統合するならどのようにするのか。改修工事なのか、同所での建替え新築なのか、新規の場所で新築なのかで日光総合会館の解体時期が決まってくると思います。耐震化I s値0.65は藤原総合文化会館より耐震が有効であり新しい今市文化会館が竣工するまで日光総合会館が必要であり、全体の計画も見えなければなりません。
- 文化協会日光支部絵画部は現杉並木公園ギャラリーに移行して発表をしています。過去、今の郷土センター1階に市民ギャラリーが隣接され、絵画展や写真店、盆栽展、絵手紙展なども盛んにおこなわれてましたが、今は観光協会内の一部になってしまい利用できません。二階の展示室を改良してギャラリーになりましたが、狭くて大作の発表はできません、絵手紙やつるし雛の発表はありますが、とにかく狭い。2階の吹き抜けをフローリングに改良して現在のギャラリーを広げ外から見にきてくれる方々にも胸張れる設備にならないだろうか。ギャラリーに使用していない茶室はいらない。今市まで鑑賞に行けない方々にも優秀な作品展のご案内をしたい。